

## 1. 内政

### ▼検事総長の傷害致死事件への関与の可能性

- ・21日、議会は、傷害致死事件に関する議会特別捜査委員会を開催し、同事件への関与の可能性が指摘され18日に辞表を提出していたズプコ検事総長の辞任を承認。
- ・21日、共産党議員は、傷害致死事件の対応責任をめぐりルプ議会議長及びプラホトニク議会第一副議長（共に民主党）の解任を要求。22日、自由民主党は、議会第一副議長解任手続変更に関する議会規定案を提出する意向を表明。23日、ギンプ自由党党首は、与党連合AEIの崩壊阻止のためプラホトニク第一副議長とフィラト首相（自由民主党党首）の解任を提案。
- ・23日、ルプ議会議長は、自由民主党と共産党の政治的策略により与党連合AEIは崩壊の脅威にさらされているとし、自由民主党は近い将来の繰り上げ議会選挙実施を望んでいる可能性がある旨指摘。これに対し、フィラト首相は、自由民主党と共産党の協力関係の存在及び繰り上げ議会選挙実施の意図を否定。
- ・25日、ルプ議会議長は、議長の同意が必要であるとする第一副議長解任の手続きが変更された場合、民主党は憲法裁判所に提訴する意向である旨発言。
- ・25日、ティモフティ大統領の報道官は、大統領は与党連合内の衝突は民主主義社会の正常な現象であるが、国家の欧州統合路線を妨げるものであってはならないと考えている旨発言。

## 2. 経済

### ▼深化した包括的自由貿易協定(DCFTA)

- ・24日、カルミック経済次官は、次回のDCFTAの第6回目の交渉が3月11～15日に予定されており、これが最後の交渉になるかもしれない、すべての関係者がこの3月の交渉において特段の苦勞をすることはなく、11月後半にリアニアで開催される東方パートナーシップサミットにおいてこのDCFTAの署名が可能となるであろう旨発言。

## 3. 外交

### ▼コジャーラ・ウクライナ外相の来訪

- ・21日、ティモフティ大統領は、モルドバを訪問したコジャーラ・ウクライナ外相と会談し、ウクライナのOSCE議長国就任に対する祝意を述べ、沿ドニエストル紛争解決過程におけるウクライナの貢献に期待を表明。コジャーラ外相は、OSCE議長国就任後の初の訪問先がモルドバであることはウクライナがモルドバとの関係を重視している証左である旨発言。
- ・21日、フィラト首相、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相及びルプ議会議長は、それぞれコジャーラ外相と会談し、両

国協力関係の強化、沿ドニエストル紛争の解決及び欧州統合分野における協力等に関し協議。

### ▼アッセルボルン・ルクセンブルク副首相兼外相の来訪

- ・22日、フィラト首相は、モルドバを訪問したアッセルボルン・ルクセンブルク副首相兼外相と会談し、両国関係発展の展望、モルドバの欧州統合の進展、地域の安全保障及び沿ドニエストル問題等に関し協議。アッセルボルン副首相兼外相は、ルクセンブルクはモルドバの欧州統合路線を支持するとし、ルクセンブルクが有する内務、法制度、人権、刑務所制度、財政及び金融分野における経験をモルドバと共有する用意がある旨発言。
- ・23日、ティモフティ大統領は、アッセルボルン副首相兼外相との会談においてモルドバの欧州統合に関し協議し、両国貿易関係の活性化の必要性を強調。アッセルボルン副首相兼外相は、モルドバは東方パートナーシップ参加国中で最もEUとの交渉が進んでいる国である旨発言。
- ・アッセルボルン副首相兼外相は、22日にレアンカ副首相兼外務・欧州統合相と、23日にルプ議会議長及びカルポフ国家再統合問題担当副首相と会談し、それぞれモルドバの欧州統合、両国議会間協力の活性化及び沿ドニエストル紛争解決問題に関し協議。

### ▼その他

- ・21、22両日、第14回モルドバ・EU連合協定交渉がキシナウにて開催され、ゲルマン・モルドバ外務・欧州統合次官、ウィーガンド欧州対外活動庁ロシア・東方パートナーシップ・中央アジア局長が参加。双方は、協定前文に関し合意し、同本文における進展、モルドバ・EU査証問題関連の交渉継続、司法、自由及び安全に関する交渉の完了を確認。ゲルマン次官は、連合協定交渉は最終段階に入ったとし、今春の協定本文の完成を期待する旨表明。次回交渉はブリュッセルにおいて3月に開催予定。

## 4. 沿ドニエストル

### ▼コジャーラ・ウクライナ外相のティラスポリ訪問

22日、コジャーラ外相は、ティラスポリを訪問し、シェフチューク「大統領」、ステパノフ「首相」、シュタンスキ「外相」及びブルラ「最高会議議長」等と会談。コジャーラ外相は、沿ドニエストル紛争解決は2013年OSCE議長国であるウクライナの最優先課題の一つであり、「5+2」交渉を更に加速させる必要性を指摘し、キシナウ・ティラスポリ間が直接、建設的対話を継続することへの期待を表明。シェフチューク「大統領」は、ドニエストル川両岸の住民の関心事である社会・経済問題の解決の必要性を強調。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。  
(了)